創世ホール通信 No. 277

催し案内＋文化ジャーナル
2018年2月1日発行■北島町立図書館・創世ホール
電話088・698・1100◎ファクシミリ088・698・1180
771-0207◎徳島県板野郡北島町新喜来字南古田91◎

サエキけんぞう講演会

日本にロックができるまで

ムッシュかまやつ、大瀧詠一、加藤和彦

パイオニアたちの知られざる闘いを語ろう！

2月4日（日） 14時30分～

会場●3階多目的ホール　　入場無料

講師●**サエキけんぞう**（アーティスト、作詞家、千葉県在住）

演題●「**日本にロックができるまで！**～ムッシュかまやつ、大瀧詠一、加藤和彦～パイオニアたちの知られざる闘いを語ろう！」

主催●北島町立図書館・創世ホール

特別協賛●徳島大学歯学部、㈱リットーミュージック、㈱アビック、いぬん堂、テレグラフファクトリー

■現代の日本はJ-POP時代。J-POPの原動力はロックだった。そのロックは一夜にしてできたのではない！■ロックを切り開くために苦闘した先人たちの知られざるエピソードと、貴重音源を紹介しながら、日本ロック創生期の真実を解き明かす■徳島大学歯学部出身の俊才・サエキけんぞうが、第二の故郷・徳島で今縦横に語る日本ロック誕生秘話！■貴重な機会です。お聴き逃しなく！

サエキけんぞう氏講演会関連特別展示

1月17日（水）～2月4日（日）

場所●1階図書館カウンター前スペース

■サエキけんぞうさん講演会に関連して、ハルメンズ、パール兄弟、ジョリッツなどのサエキさんが関わったグループ、ムッシュかまやつ（スパイダース）、大瀧詠一（はっぴいえんど）、加藤和彦（サディスティック・ミカ・バンド）関係の録音盤や書籍資料等をドカンと展示しています■**関連情報** 2月3日（土）16時から17時まで徳島市のTSUTAYA田宮店で、サエキけんぞうさんのインストア・イベントがあります。TSUTAYA田宮店では創世ホール講演会に合わせた特別コーナー設置など、宣伝ご協力をしていただいています。

東北応援チャリティ公演

大地のうた⑧ ～光～

3月4日（日） 14時～

会場●3階多目的ホール

入場料●**1500円**（前売当日共）

出演●**阿部一成**（篠笛、元鼓童）、**竹繁文章**（津軽三味線、吉野川市）、**高橋宏徳**（剣舞）、**桧獅子舞保存会**（獅子舞、鳴門市）、**鴨島鳳翔太鼓**（和太鼓、吉野川市）、**亀本美砂**（インド古典舞踊）、**武田仁美**（ソプラノ）、**小川典子**（ソプラノ）、**川真田加穂里**（ソプラノ）、**粟田美佐**（ピアノ）他

主催●東北応援・プロジェクトあい（村澤☎090・1171・7353）

笑福亭たま・旭堂南湖二人会⑪

3月24日（土） 14時～

会場●2階ハイビジョン・シアター

入場料●前売／大学生・一般**1500円**、小・中・高校生**1000円**（当日各**500円**増）

出演●**笑福亭たま**（上方落語家）、**旭堂南湖**（上方講談師）

演目●落語「**源平盛衰記**」ほか1席（お楽しみ）、講談「**曲馬団の女**」ほか1席（お楽しみ）

主催●たま・南湖二人会実行委員会（☎088・698・1100）

■毎度おなじみ上方演芸界を背負う2人のプリンス笑福亭たまと旭堂南湖（きょくどう・なんこ）、ついに迎える11回目の二人会。今回も超満員必至！　健康増進・抱腹絶倒！　お見逃しなく！

文◎化◎ジ◎ャ◎ー◎ナ◎ル

企画広報担当者日録●2018年１月

【2018年１月６日(土)】■２泊３日の日程で妻と東京へ。今回も国分寺にいる次男夫婦のところで孫の様子を見ることが主要目的だ。私は、今回は２日間日程が詰まっている。

■羽田空港に到着し、弥生美術館に直行。年明けから弥生美術館で「滝田ゆう展」が開催スタートしているので、上京時に行くことを決めていたのだが、サエキけんぞう氏との打ち合わせ場所を協議している内に、３月からの弥生美術館企画にサエキさんも関わっているということで、それなら同館で合流し隣接した喫茶店で打ち合わせをやりましょうということになったのだ。

■北島町立図書館・創世ホールと弥生美術館は色々とご縁がある。堀江あき子さんという学芸員の方がおられた頃には、大伴昌司さんのご母堂・四至本アイさんとの関係でずいぶんお世話になった。「文化ジャーナル」で四至本さんのインタビュー（池田憲章氏との共同取材）を掲載していたので、大伴さん関連の展覧会（【奇っ怪紳士！怪獣博士！　大伴昌司の大図解展】2012年７月６日～９月30日）の図録に参考資料として記載してくださって、その旨ご連絡をいただいたのが最初のやり取りだったと思う。特に思い出深いエピソードとしては、私の上京時に合わせて、日比谷公園の松本楼で四至本さんを囲む会を企画してくださったことで、池田憲章氏や村山実さんや仁賀克男さんやＮＨＫのディレクターの方などが出席する豪華な集まり（四至本さんを祝う昼食会）にお誘いいただいたのだった。ほどなくして四至本さんは、お亡くなりになったので（2013年１月25日没）、本当に最後の機会を作ってくださったのは弥生美術館学芸員の方のおかげだったのだ。

■同美術館は、周辺文化系～大衆文学の挿絵などの企画展をよくしており、私の趣味嗜好と合致するので私は上京時にかなり出かけている。南陀楼綾繁（ナンダロウアヤシゲ、本名河上進）氏や木部与巴仁氏や池田憲章氏と待ち合わせたこともある。とにかく10年以上前から気にかけている美術館なのだ。昨年は、「平田弘史展」のチラシを四方田犬彦さん講演会で来場者にお配りしたし、今年はサエキさん講演会で「滝田ゆう展」のチラシを配布することになっている。そんなわけで、館の入り口でごあいさつすると歓待を受ける。

■少し早く到着したので展覧会を鑑賞。滝田ゆうさんが多くのＣＭに出演し、あの着流しの浴衣のような格好で各種ポスターに収まっていることに驚かされた。一通り見学して、受付でサエキさんのチラシを補充していると、既にサエキさんは来られているとの由。

■北島町創世ホール講演会のポスターが掲示されているので、せっかくなのでそれを写真に収めたあと、喫茶室へ。サエキさんに、徳島空港で買ったししゃもねこのクリアファイルのおみやげを渡した。サエキさんからはたくさんのＣＤをいただいた。『エッジィな男　ムッシュかまやつ』（リットーミュージック）にサインしていただき、１時間みっちりと打ち合わせ。12月28日に寺田成さんがサエキさんの事務所に出かけてTSUTAYA田宮店での特別展示のことで協議されているので、そのことを尋ねると、イヤー、寺田さんは若いのにマニアですねー、それはとても感心なことですなー的な会話になった。

■サエキさんがこの後の私の移動先を問うので、古書ほうろうに行くのですと返答すると、一緒に行きましょうと言われ、先導して下さったのだった。地下鉄の駅に換算して一駅半ぐらいの距離なので、私たちは都内の下町散歩をしたのである。もったいないことである。約20分ほどの道中、加藤和彦さんが亡くなられた時のことや、ムッシュかまやつさんの最後のプログレ・プロジェクト《雷門プロジェクト》のことなどを伺う。

■古書ほうろうに無事到着。サエキさんは少し店内を回ってお帰りになった。お店の方はサエキさんが来たので喜んでいた。久しぶりの古書ほうろうは懐かしく、２百円均一箱の中を物色。サエキさん講演会のチラシとポスター掲示をお願いする。

■後ろ髪をひかれる思いで新宿へ移動。ガーデンシェッド、ディスクユニオン新宿本店地下、模索舎をまわり、チラシ、ポスター掲示のお願いをした。

■京王新線で初台駅へ。駅直結の東京オペラシティ３階の近江楽堂へ。19時開演で、北島町にゆかりのあるリュート奏者の佐野健二さん（過去３回登場）が出演する古楽演奏会「夢見る女」。終演後、佐野さんにごあいさつ。

【１月７日(日)】■朝、９時過ぎに出発。西武線で東久留米市の池田憲章氏宅へ。池田氏は病気療養中なので近況を色々伺う。

■11時半頃、上野に向かう。上野の森美術館の「生頼範義展」へ。物凄い人出。ミュージアム・ショップのレジ前の行列にも驚く。

■15時半、田原町へ。リーディン・ライティン・ブックストア。19時から店内で南陀楼綾繁（ナンダロウアヤシゲ）さんと私(小西)によるトーク・ショー「無茶するふたり」を行なうのだ。11月に刊行された『編む人』の出版記念イベントである。店内の本を探索していると、ナンダロウ氏とビレッジプレスの五十嵐洋之氏が来訪。打ち合わせのため外出した。近くに古書ドリスが移転したということで、タクシーで移動。この店もなごむ。『牧神』がとても安いので驚く。古書ほうろうも、古書ドリスも２時間は滞在したい店だ。

■トーク・ショーは、30名の来場者(満員)。知人関係では、『新青年』研究会の末永昭二さんと湯浅篤志さん、グラフィック・デザイナーの赤崎正一さん(杉浦康平事務所出身、神戸芸術工科大)、国立国会図書館の藤元直樹さん(ジュール・ベルヌ研究)、元模索舎の安藤順さん(ころから主宰)、いぬん堂の石戸圭一さんの姿があり、感激する。聞き上手な南陀楼さんのお導きで２時間ほどおしゃべりさせていただいた。終了後、サイン会。徳島市のメディコム（「さらら」や『タウン情報トクシマ』の発行所）で武市典子さんと仕事をしておられたという女性（セリザワモータース・篠賀典子〔ささか・のりこ〕さん）からあいさつされて驚いた。カッコイイ旦那さんがご一緒。その他多くの版元さんから名刺をいただく。赤崎さんや『新青年』研の人たちとあまり話が出来ず残念。

■22時半過ぎ、国分寺駅着。

【１月８日(月)】■次男とその長男(孫)と我々夫婦で立川駅へ。昭和記念公園でゆったりした時間を過ごして、昼食。夕方、羽田から徳島に帰還。

【１月11日(水)】■「創世ホール通信」１月号を完成。

【１月16日(火)】■３年がかりで取り組んでいる行政史『北島町史続編』の詰めの作業。本文頁の最後の修正作業を４人で行なった。

【１月17日(水)】■サエキけんぞうさん講演会の関連資料展示コーナーを設営。少しでも充実させたいので、時間がかかる。１つのガラス・ケースには古いＧＳ資料(67～68年の近代映画や明星の臨時増刊や別冊など)の中からザ・スパイダースやかまやつひろしさんの頁を見せるように展示。これらの資料は、以前徳島市の山田慶子さんから謹んでお譲りいただいたお宝群だ。その他、「真珠の涙」「黒ゆりの詩」「涙の日曜日」のシングル盤、かまやつさんやスパイダースのＣＤ。別のケースには、加藤和彦さん関係、大瀧詠一さん関係、サエキけんぞうさん関係の書籍やＣＤなどを展示した。パネルボードにも色々展示。

【１月18日(木)】■徳島新聞社会部記者の取材を受ける。

【１月20日(土)】■創世ホール名画鑑賞会27「湾生回家（わんせいかいか）」上映会。午前午後で約130名。

■夜、「藍のけしき」展観賞のために沖縄から来られた女性３名（勇崎哲史さんの写真講座受講生）と徳島側の女性２名と食事会。非常に奥深い話ができた。なにしろ石内都さんが芸術新潮の取材で北島町入りされて、その関係で横浜の展覧会場に北島町から３名が出かけたという話をすると、私も展覧会行きましたと反応があり、最近麻糸を紡ぐ人と話す機会がありましたと言うと「私は木綿糸を紡いでいます」と言う方がいるのだから。

【１月25日(木)】■休日。文化の森へ。１階・21世紀館イベントホールの「藍のけしき」展。２階・美術館ギャラリーの「チャレンジ徳島芸術祭」。久しぶりに友井学芸員と会えたのでよかった。

【１月26日(金)】■「徳島新聞」朝刊社会面にサエキさん講演会の記事が大きく掲載される。問い合わせの電話が多数。

■10時半過ぎ、ＦＭびざんへ。12時～13時の生番組「レインボーMIX GOGO」で、サエキけんぞうさん講演会のＰＲ。

■放送局から帰還。サエキさんから入魂のレジュメが到着していた。大変な高密度の内容である。イントロの文章のみご紹介。

【日本にロックはありませんでした。／今はあります。気が付かないうちに育った？　違います。／先人が、欧米の本物のロックの真髄を学び、それを広めてくれたから今の日本のロックがあります(以下略)】

■当日配布資料(プログラム)の版下制作に没頭。印刷所と協議。休日の関係で、月曜午前に版下を直接届けることに決定。

【１月27日(土)】■講演会当日、舞台そでで音響や照明操作でお手伝いいただくＫ山元所長さん宅を訪問。映像音源とＣＤプレーヤーと２種類の機器から音楽を聞かせる内容なので、その段取りについて。また、講演終了後にミニライブもある大変盛り沢山な内容なので、その件も相談。

【１月29日(月)】■10時、徳島市内の印刷所へ。無事版下入稿。

【１月30日(火)】■Ｋ山元所長、来館。プロジェクターと音響関係の設営。

■サエキけんぞうさんを囲む会の開催通知を作成。

【１月31日(水)】■「創世ホール通信／文化ジャーナル」２月号の制作に没頭。講演会まで数日となった。まだまだなすべき仕事が残っている。アンケート印刷や当日配布資料の挟み込み作業、立看板製作などなど。体調を整えて頑張るしかない。天空の彼方のニューウェイヴの神様、我らにご加護を！(2018年１月31日脱稿　文責＝小西昌幸)